

硬筆指定課題 評価の観点

《小3》 大平恵理 書

はじめに、しせいとえんぴつの持ち方をたしかめます。
正しく整って書けているか、が大切です。「止め・はね・はらい、せんの長さどむき、あき、おれ、おりかえし、曲がり、そり、せんとせんのつき方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

※「筆圧」とは、えんぴつの先から紙に伝わる力のこと、また、「外形」とは、だいたいの形のことで。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字は大きめ、ひらがなは小さめ、画数の多い文字は大きめ、少ない文字は小さめです。外形も考えて、読みやすく書くようにしましょう。

①	山	山	
②	の	の	
	お	お	
	寺	寺	
	が	が	
	鳴	鳴	
	る	る	

しめいは上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。

※次のむすび方でもよい。「ね」

小三
